

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 27-28
補助事業名 平成27年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充事業等補助事業
補助事業者名 地方独立行政法人北海道立総合研究機構

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

工業試験場における試験機器の整備を推進することで、試験研究機能や技術支援機能の強化を図り、本道の中小機械工業の振興を図る。

(2) 実施内容

促進耐候試験システム、雷サージ試験器、信号発生器の3機種を導入した。

2 予想される事業実施効果

本事業で導入した設備により、次の試験・評価等が実施可能となった。

これらの機器を活用して、技術相談や依頼試験等を行うことで、道内の中小の機械工業や電気機械機器製造業事業所の製品・材料開発や品質管理を支援することができ、事業化・製品化の推進を図ることができる。

①促進耐候試験システム

各種材料（プラスチック、金属、セラミックス等）の耐候性評価

②雷サージ試験器

電子機器等の誘導雷に対する耐性評価

③信号発生器

電子機器等の外来の電磁ノイズに対する耐性の評価

3 本事業により導入した設備

①促進耐候試験システム

<http://www.iri.hro.or.jp/gijyutu/setsubi/facility/15/sokusintaikousiken.pdf>

設置場所：【地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 工業試験場】

本システムは、サンシャインウェザメーター、純水製造装置、光沢計から構成される。

サンシャインウェザメーターの槽内において、太陽光・温度・湿度・降雨等の条件を人工的に再現し、素材・製品の劣化を促進させて、光沢計等でその劣化状態を評価するシステムである(写真1)。



写真1 促進耐候試験システム

(①サンシャインウェザメーター、②純水製造装置、③光沢計)

②雷サージ試験器

(<http://www.iri.hro.or.jp/gijyutu/setsubi/facility/15/kaminarisaji.pdf>)

設置場所：【地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 工業試験場】

JISで規格化された雷サージ(誘導雷)を模擬的に発生させ、電子機器等の誘導雷に対する耐性を評価する装置である。(写真2)



写真2 雷サージ試験器

③信号発生器

(<http://www.iri.hro.or.jp/gijyutu/setsubi/facility/15/singouhatuseiki.pdf>)

設置場所：【地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 工業試験場】

当該保有の放射イミュニティ測定システムにおいて電磁波を発生させ、電子機器等の外来の電磁ノイズに対する耐性を評価することができる。

また、今回導入した機器では、任意形状の信号を発生することができるため、GPS 等の電磁波を利用する機器の評価も可能である(写真3)。



写真3 信号発生器

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 地方独立行政法人北海道立総合研究機構産業技術研究本部工業試験場
(チホウドクリツギョウセイイホウジンホッカイドウリツソウゴウケンキュウキコウサンギョウギジュツケンキュウホンブコウギョウシケンジョウ)

住所： 〒060-0819

北海道札幌市北区北19条西11丁目

代表者： 産業技術研究本部長兼工業試験場長 蓑嶋 裕典 (ミノシマ ヒロノリ)

担当部署： 産業技術研究本部企画調整部企画課

(サンギョウギジュツケンキュウホンブキカクチョウセイブキカクカ)

担当者名： 主査 山越 幸康 (ヤマコシ ユキヤス)

電話番号：011-747-2339

F A X : 011-726-4057

E-mail : i-kikaku@hro.or.jp

URL : <http://www.iri.hro.or.jp/>